

事業番号	05 08 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	感染症対策事業			部局	健康福祉部	課・室	感染症対策課
				実施期間	S26 ~	E-mail	kansen@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係							
重点目標	⑦健康寿命						
総合的に展開する重点政策	4-3 医療・介護提供体制の充実						

### 1 現状と課題

- ・感染症は、人類創世期以来の脅威として常にあり続けている。
- ・国際交流の活発化等により海外からの病原体の侵入を防ぐことには限界がある。
- ・感染症対策には、予防・治療・療養の体制確立が肝要であり、一律に隔離するといった対策の必要性は減少している。
- ・社会機能の維持のため、人権にも配慮しながら必要最小限度で感染症対策を実施する必要がある。

### 2 事業目的

感染症の発生及びまん延を防止することにより、県民の公衆衛生の向上及び増進を図る。

### 3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

- ①感染症の流行状況の調査及び公表
- ・感染症の発生動向を把握するため、感染症法に基づき医療機関等から患者発生に係る情報を収集。
  - ・感染症の流行に係る情報を県民に伝え、予防に努めていただくため、積極的疫学調査等によって得られた情報を分析し、公表。
- ②感染症に関する各種検査・相談事業や啓発事業の実施
- ・社会的影響が大きい結核、エイズ等の感染症について、県民の不安解消及び同感染症のまん延防止のため、保健所において検査及び相談を受け付ける。
  - ・エイズ等の感染症について、県民の注意を促すため、感染症の性質や感染経路等について啓発活動を行う。
- ③新型コロナウイルス感染症への対応
- ・民間検査機関等による行政検査を実施。
  - ・医療機関における検査の患者自己負担分助成。
  - ・患者受入医療機関への病床確保料支払い。
  - ・受診に係る相談窓口及び療養者の健康観察体制の維持。

### 4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度目標値	達成状況	設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	結核罹患率	—	6.7	5.1	↗	5.2(速報値)	↘	10以下	達成	接触者検診の実施など結核の早期診断、感染拡大防止策の成果を表すものとして設定。罹患率10以下が低蔓延状態とされているため、目標値を10以下とした。	
②	感染症指定医療機関の数（現状維持）	所	11	11	→	11	→	11	達成	感染症発生に備える体制として感染症指定医療機関の運営を支援する。既に圏域単位での体制が整っていることから、現状維持を目標とした。	
③	麻しん風しんの2期定期接種率	%	95.0	94.5	↘	93.3	↘	95%以上	未達成	国の麻しんに関する特定感染症予防指針及び風しんに関する特定感染症予防指針に基づき、麻しんの排除の継続及び風しんの排除に努める必要があることから、成果指標として設定。麻しん及び風しんに関する特定感染症予防指針に定める接種率目標に準じて95%以上を目標とした。	
④	新型コロナウイルス感染症陽性者のうち重症者の割合	%	1.4	0.1	↗	0.1	→	0.5	達成	患者等の重症化を予防する取組を進めていることから、陽性者数に対する重症者の割合を指標として設定。重症者の割合が0.5%以下であれば、医療警報発出の目安（重症者用確保病床数（43床）の20%）を下回ることからこれを目標とした。	

### 5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計（予算現額）	うち一般財源		
R4年度	0	38,454,162	4,708,475	43,162,637	1,678,193	39,733,501	51.0
R3年度	2,491,247	16,203,885	33,797,313	52,492,445	4,701,743	38,240,480	55.0
R2年度	145,857	364,736	26,547,439	27,058,032	786,379	22,826,251	4.0

事業番号	05 08 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	感染症対策事業		部局	健康福祉部	課・室	感染症対策課

## 6 主な取組実績と成果

### ①感染症の流行状況の調査及び公表

- ・感染症の発生動向を把握するため、感染症法に基づき医療機関等から患者発生に係る情報の収集を実施(3類感染症49件、4類感染症73件、5類感染症(全数把握)196件)。
- ・収集した情報を長野県感染症情報として原則毎週水曜日に公表し、感染症の発生動向、流行に係る情報を県民に周知。通常の感染症情報の号外を2件、季節性インフルエンザについて別途プレス(2件)を行い、感染症のまん延防止に資するよう、広く県民に周知した。

### ②感染症に関する各種検査・相談事業や啓発事業の実施

- ・保健所および医療機関において結核患者の接触者に対する健診および結核治癒後の検診（管理検診）を実施(接触者健診：740人、管理検診62人実施)
- ・各保健所において性感染症等の検査・相談を実施(HIV・性器クラミジア・梅毒検査件数:837件)
- ・HIV普及啓発パンフレットを作成し、保健所において配付。(2,000部)
- ・新型コロナウイルス感染症対策への配慮から、全体的に規模を縮小して実施。

### ③新型コロナウイルス感染症への対応

- ・感染した方の負担軽減のため、入院費用や治療薬等について、自己負担額を公費で助成。(公費による助成：入院医療費611,393千円 自宅・宿泊療養医療費 1,566,297千円)
- ・感染拡大をできる限り抑止するため、必要な行政検査を実施。(行政検査実施数：781,734件、抗原定性検査キット配付数：1,785,074回分)
- ・必要な方が入院できる環境を整えるための病床確保料を医療機関に支給。(支給実績：267億)
- ・有症状者を医療に繋げる受診・相談センター及び自宅療養中の健康不安や健康相談に対応する健康観察センターを設置。(受診・相談 201,590件、ワクチン接種相談 17,371件、健康観察者数 113,644人)

## 7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	結核罹患率	R3年度推移	↗	R4年度推移	↘	達成状況	達成
接触者健診、管理検診の確実な実施により、結核の早期診断、感染拡大防止に努めることができた。 新型コロナウイルス感染症の影響による外出機会の減少、受診控え等も目標値達成の要因の1つと考えられる。							
指標②	感染症指定医療機関の数（現状維持）	R3年度推移	→	R4年度推移	→	達成状況	達成
運営費の補助により、感染症指定医療機関の数の現状維持に寄与することができた。							
指標③	麻しん風しんの2期定期接種率	R3年度推移	↘	R4年度推移	↘	達成状況	未達成
新型コロナウイルス感染症が流行下で、接種の見合せや予定した日に接種ができない等の理由により、目標値をわずかに下回ったものと考えられる。							
指標④	新型コロナウイルス感染症陽性者のうち重症者の割合	R3年度推移	↗	R4年度推移	→	達成状況	達成
医療機関や高齢者施設に治療薬の現状や投与の目安等を周知することで、治療薬の適切な投与及び重症化の抑制に繋がっていると考えられる。							

## 8 今後の事業の方向性

### (1) 令和4年度の取組実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、一時的に縮小していたその他感染症に係る業務を本来の姿に戻していく必要がある。
- ・新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、新型コロナウイルス感染症への対応が、これまでの特別なものから幅広い一般医療での対応に移行することになるため、移行に際して医療現場に混乱が生じないよう対応する必要がある。

### (2) 翌年度以降の事業改善の方策

- ・新型コロナウイルス感染症以外の感染症対応について、HIVの啓発活動など、縮小していた事業を順次従来の規模で展開する。
- ・5類移行の方針を踏まえ、経過措置として維持される病床確保料及び医療費支援を確実に行う。
- ・一般医療への移行に係り、必要な設備整備支援を実施する。

事業番号	05 08 01	<b>細事業一覧（令和4年度実施事業分）</b>	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検		
事業名	<b>感染症対策事業</b>		部局	健康福祉部	課・室
					感染症対策課

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	<b>感染症対策事業</b>		22,632,662 千円	37,670,842 千円	39,564,477 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	感染症対策協議事業	直接	感染症対策懇談会の開催（新型コロナウイルス感染症拡大のため未開催） —		
2	感染症健康診断事業	直接	健康診断用医薬材料の購入、感染症検査機器（インキュベーター等）の更新を実施。 検査実施数156件		
3	感染症入院医療費負担事業	直接 委託	・感染症法等に基づき医療費の公費負担を実施。 ・感染症患者を医療機関へ移送する体制を整備。 入院医療費実績 611,393千円 自宅・宿泊療養医療費 1,566,297千円 消防および委託業者等による搬送：1,629件 67,603千円		
4	予防接種対策事業	負担金 補助金 委託	・予防接種により健康被害を受けた者に対し、医療費・障がい年金等を負担（3件） ・予防接種により健康被害を受けた可能性のあるものに対し実施した調査事業費を補助（1件） ・骨髄移植等により免疫消失した児に対するワクチン再接種費用を助成する市町村に対し、その費用の一部を負担。（10市町村11件） 予防接種センター事業を実施（委託先：長野県立こども病院）		
5	新型インフルエンザ等対策推進事業	直接	検査検体が少なく、検体からウイルスが分離されなかったため、薬剤耐性の確認検査は未実施。よって新型インフルエンザ対策としての検査試薬は未購入。 —		
6	風しん抗体検査事業	委託	安心して妊娠・出産ができる環境づくりに資するため、妊娠を希望する女性等を対象に風しんの抗体検査を実施。 検査実施件数：155件		
7	PCR検査体制強化事業	委託	医療機関における検査の患者自己負担分助成及び行政検査の民間検査機関等への委託を実施。 患者自己負担分助成実績：703,888件1,224,203千円、行政検査委託実績：76,932件604,448千円、ゲノム解析委託実績：914件31,659千円		
8	新型コロナウイルス感染症患者受入病床確保事業	補助金	新型コロナウイルス感染症の患者受入病床を確保する医療機関に対し、病床確保料を助成 確保病床数：557床		
9	新型コロナウイルス感染症相談窓口事業	直接 委託 補助金	相談先医療機関の案内、新型コロナウイルスワクチン接種に係る専門的相談対応を実施。（委託先：株式会社TMJ） 受診・相談 124,366件（中核市を除く）、ワクチン接種相談 15,018件		
10	新型コロナウイルス感染症外来・検査センター運営事業	直接 委託	診察及び検体採取を集中的に行う「新型コロナウイルス感染症外来・検査センター」を、郡市医師会等に委託して県内各圏域ごとに設置。 県内11箇所に設置（感染状況等に応じて廃止を検討）		

11	新型コロナウイルス感染症対応設備等維持事業	補助金	県内医療機関におけるユニットハウスのリース料など、新型コロナウイルス感染症の診療・検査体制の維持に係る費用を助成。 R4活用実績：7機関13,965千円
12	新型コロナウイルス感染症患者対応医療従事者宿泊施設確保事業	補助金	患者対応により帰宅できない医療従事者のために宿泊施設を確保した医療機関に対して係る経費を助成 R4活用実績：22機関31,404千円
13	専門家懇談会設置事業	直接	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、専門的な助言や意見を聴くため、専門家懇談会を開催 43回開催
14	新型コロナウイルス感染症軽症者等受入施設等確保事業	直接 委託	・県内4地域において宿泊療養施設として借上げ。(東北信地域運営委託先：東武トップツアーズ株式会社 長野支店、中南信地域運営委託先：株式会社 J T B 長野支店) ・自宅療養者の健康観察等を行う健康観察センターを設置。(委託先：株式会社ヒト・コミュニケーションズ) 宿泊療養施設最大6か所設置
15	感染拡大傾向時の検査無料化事業	補助金	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の傾向が見られる際に、県の要請により無症状者に対する検査を無料で実施する。 検査件数：206,090件、補助額：926,917,300円
16	年末年始外来診察体制確保事業	直接	新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行による発熱患者等の増加に備え、協力金の支給により外来診察を実施する医療機関を確保する。 R4.12.30~R5.1.3、R5.1.8~9の7日間で、延べ436医療機関を確保
17	感染症指定医療機関運営費補助事業	補助金	感染症指定医療機関の運営費に対して補助を実施。 第一種：1 医療機関、第二種：2 医療機関

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
2	<b>感染症調査予防事業</b>	13,241 千円	391,239 千円	14,393 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容(実績) (上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット)	
1	感染症発生動向調査事業	直接	感染症の発生状況を収集・分析するため、届け出医療機関(74件)への協力謝金や、環境保全研究所で行う検査の医薬材料を購入。 検査実績264件(県分138件、中核市分126件)	
2	感染症流行予測調査事業	直接	インフルエンザや麻しん・風しん等の感染症の流行予測を行うため、保健所が実施する検査に係る医薬材料を購入。 延べ934検体の検査を実施	
3	感染症健康診断等予防対策事業	直接	インフルエンザ様疾患の集団発生の状況把握のため、環境保全研究所が行う検査に係る医薬材料を購入。 集団感染9件、25検体の検査を実施	
4	予防接種後健康状況調査事業	直接	予防接種後の被接種者の健康状況について情報を収集した。 12医療機関から健康状況情報を収集	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
3	結核対策事業	41,948 千円	38,754 千円	40,475 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	結核健診事業	直接 委託	保健所において、結核患者の接触者に対する健診、結核治癒後の検診（管理検診）を実施するため、医薬材料を購入。また、医療機関に委託して健診を実施。 接触者健診：740人 管理検診：62人	
2	結核医療費負担事業	直接	結核通院患者および入院勧告患者に対し、感染症法に基づき医療費の公費負担を実施。 通院医療費：2,099千円 入院医療費：16,587千円	
3	結核健康診断補助事業	補助金	私立学校および私立施設が行う定期健康診断に要する費用について補助を実施。 補助実績：141事業者 8,413千円	
4	結核定期病状調査事業	直接	結核登録者のうち、精密検査等により病状把握の困難な者について、医療機関から登録者の病状を把握するために実施。 報告件数：140件	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
4	結核特別対策事業	48 千円	133 千円	184 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	結核予防総合事業	直接	結核患者の服薬確認（DOTS）を徹底するため、服薬手帳を作成し、患者に配布。 300部作成。患者全員に服薬確認実施。	
2	結核予防技術者研修事業	直接	結核業務に従事する保健所職員を結核研究所の研修に派遣。 2名参加	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
5	特定感染症（エイズ・性感染症）対策事業	3,017 千円	4,153 千円	3,028 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	エイズ・性感染症相談・検査、普及啓発事業	直接 委託	保健所が行うHIV等の性感染症の無料検査に係る医薬材料を購入とともに、エイズ予防に関する普及啓発パンフレットを作成。 医療従事者感染症対策研修については、新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、実施せず。 性器クラミジア感染症等検査及び医療機関等における針刺し事故発生時に使用する抗HIV薬の配備を実施（検査委託先：北信臨床、抗HIV薬配備委託先：薬剤師会会営薬局） 普及啓発パンフレット2,000部 HIV、性器クラミジア、梅毒検査件数：837件	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
6	ウイルス肝炎対策事業	135,265 千円	135,289 千円	110,864 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	ウイルス肝炎対策事業	直接 委託	肝炎患者の経済的負担の軽減のために、慢性肝炎、肝硬変、肝がんの医療費を一部負担。信大病院に委託して肝疾患診療相談センターを運営。 医療費等扶助費総額：87,096千円	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
7	ハンセン病対策事業	70 千円	70 千円	80 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	ハンセン病対策事業	直接	ハンセン病に関する正しい知識の普及や療養所施設の入所者への支援を図るため、社会交流（里帰り）事業や療養所訪問（2か所）を実施。 訪問：2か所、里帰り：希望がなく実施せず	